

## 意見交換

テーマ1：既存住宅における低炭素化の促進について

テーマ2：再生可能エネルギー設備の普及促進について

経済産業省 環境省 同時発表

令和3年8月23日

住宅局参事官(建築企画担当)

### 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた住宅・建築物の対策をとりまとめ ～「脱炭素社会に向けた住宅・建築物における省エネ対策等のあり方・進め方」の公表～

国土交通省と経済産業省、環境省では、令和3年4月より「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」において、6回の議論を重ねてきました。

このたび、「脱炭素社会に向けた住宅・建築物における省エネ対策等のあり方・進め方」をとりまとめましたので、公表します。今後、各省において、本とりまとめに位置づけられた各取組の具体化に取り組んでまいります。

#### <とりまとめのポイント>

#### ○2050年及び2030年に目指すべき住宅・建築物の姿(あり方)

2050年 ストック平均でZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能が確保され、導入が合理的な住宅・建築物において太陽光発電設備等の再生可能エネルギーの導入が一般的となること

2030年 新築される住宅・建築物についてZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能が確保され、新築戸建住宅の6割に太陽光発電設備が導入されていること

#### ○省エネ対策等の取組の進め方

- ・2025年度に住宅を含めた省エネ基準への適合義務化
- ・遅くとも2030年までに省エネ基準をZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能に引き上げ・適合義務化
- ・将来における設置義務化も選択肢の一つとしてあらゆる手段を検討し、太陽光発電設備の設置促進の取組を進める

注「ZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能」とは再生可能エネルギーを除いた省エネ性能

#### <添付資料>

- ・(別添1)とりまとめ(概要)
- ・(別添2)とりまとめ(本文)
- ・(参考1)検討会概要
- ・(参考2)ロードマップ

※関連資料及び過去の会議資料は、下記URLからご覧ください。

[https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku\\_house\\_tk4\\_000188.html](https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000188.html)

以上

#### 【問合せ先】

国土交通省 住宅局 参事官(建築企画担当) 付 池田、壽川(内線39-474、39-458)  
電話:03-5253-8111 FAX:03-5253-1630

# テーマ1 (国の動向②)

(参考)脱炭素社会に向けた住宅・建築物における省エネ対策等のあり方・進め方に関するロードマップ(2021.8)

国交省・経産省・環境省

参考2



上記は、関係各主体が共通の認識をもって今後の取組を進められるよう省エネ対策強化のおおよそのスケジュールを示すものであり、規制強化の具体的実施時期及び内容については取組の進捗や建材・設備機器のコスト低減、一般化の状況を踏まえて、社会資本整備審議会建築分科会等において審議の上実施する必要がある。

# テーマ1 (住宅・建築物の新築・ストックの省エネ性能別構成(~2050)試算)

## 住宅・建築物の新築・ストックの省エネ性能別構成割合(~2050)の試算

- 新築については、2030年度までの対策効果と2031年度以降は2030年度における誘導基準・トップランナー基準の引上げ効果を織り込んで試算したもの(図1)。 試算の仮定・条件については別紙のとおり。
- ストックについては、上記の対策効果と省エネ改修効果を織り込んで試算したもの(図2)。 さらに2050年について、高効率省エネルギー機器への更新効果を織り込んで試算すると、ストック平均のBEIは住宅で0.80程度、建築物で0.74程度となる(図3)。
- これに加え、2050年に向けては、技術開発の進展による設備機器等の更なる性能向上により、ストック平均でのZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能の実現が見込まれる。

図1:新築の省エネ性能別構成割合

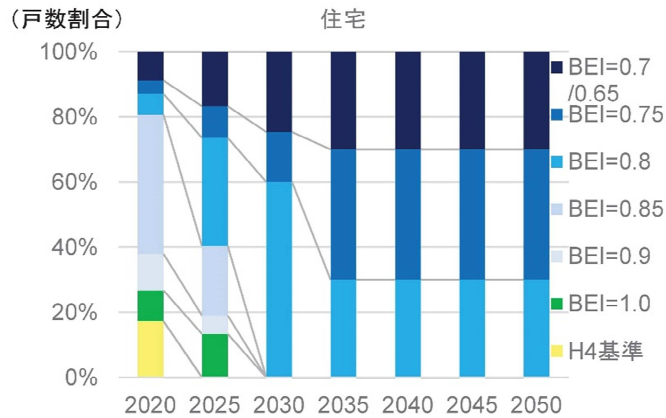


図2:ストックの省エネ性能別構成割合  
(高効率省エネルギー機器への更新を加味せず)

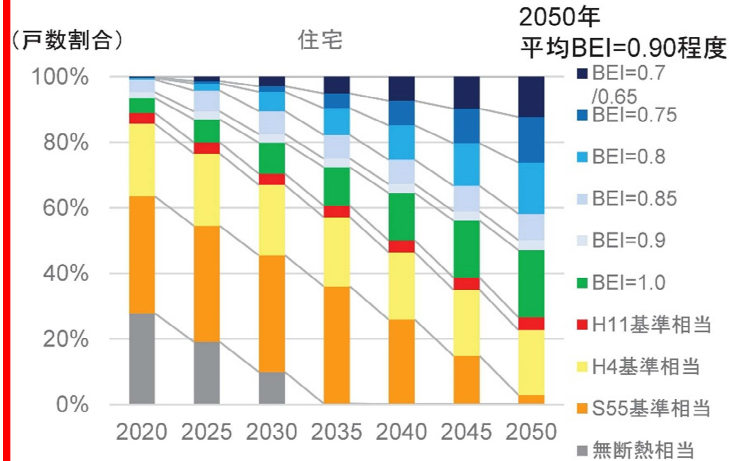


図3:ストックの省エネ性能別構成割合  
(高効率省エネルギー機器への更新を加味)

